【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公開番号】特開2009-116524(P2009-116524A)
【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)
【年通号数】公開・登録公報2009-021
【出願番号】特願2007-287419(P2007-287419)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　21/24　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 3/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/14　　５６０Ａ
Ｇ０６Ｆ　12/14　　５２０Ａ
Ｇ０６Ｆ　 3/12　　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月5日(2010.11.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ネットワークを介して外部装置と通信可能な情報処理装置であって、
前記外部装置から電子データを受信する受信手段と、
前記受信手段が受信した電子データを検索するために用いられるインデックス情報を、当該電子データに関連付けて登録する登録手段と、
前記受信手段が受信した電子データが機密データであるか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段による判定の結果、前記受信手段が受信した電子データが機密データでないと判定した場合は、前記登録手段によるインデックス情報の登録を行い、前記受信手段が受信した電子データが機密データであると判定した場合は、前記登録手段によるインデックス情報の登録を行わないように制御する制御手段と、を備える
ことを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
ネットワークを介して外部装置と通信可能な情報処理装置であって、
前記外部装置から電子データを受信する受信手段と、
前記受信手段が受信した電子データが機密データであるか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段による判定の結果、前記受信手段が受信した電子データが機密データでないと判定した場合は、当該受信した電子データを検索対象のデータとして保存し、前記受信手段が受信した電子データが機密データであると判定した場合は、当該受信した電子データを検索非対象のデータとして保存する保存手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項３】
前記受信手段が受信した電子データが機密データであるか否かを判定するための条件を設定する設定手段を更に備え、
前記判定手段は、前記設定手段により設定された条件に基づいて前記判定を行うことを特徴とする請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】

前記判定手段は、前記受信手段が暗号化通信を用いて前記電子データを受信した場合は当該電子データが機密データであると判定し、前記受信手段が暗号化通信を用いずに前記電子データを受信した場合は当該電子データが機密データでないと判定することを特徴とする請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記判定手段は、前記受信手段が受信した電子データにパスワードが含まれる場合は当該電子データが機密データであると判定し、前記受信手段が受信した電子データにパスワードが含まれない場合は当該電子データが機密データでないと判定することを特徴とする請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項６】
パスワードを入力する入力手段と、
前記入力手段により入力されたパスワードが、前記受信手段が受信した電子データに含まれるパスワードと一致した場合に、当該電子データを印刷する印刷手段とを更に備えることを特徴とする請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項７】
ネットワークを介して外部装置と通信可能な情報処理装置の制御方法であって、
前記外部装置から電子データを受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した電子データを検索するために用いられるインデックス情報を、当該電子データに関連付けて登録する登録工程と、
前記受信工程で受信した電子データが機密データであるか否かを判定する判定工程と、
前記判定工程における判定の結果、前記受信工程で受信した電子データが機密データでないと判定した場合は、前記登録工程におけるインデックス情報の登録を行い、前記受信工程で受信した電子データが機密データであると判定した場合は、前記登録工程におけるインデックス情報の登録を行わないよう制御する制御工程と、を備える
ことを特徴とする情報処理装置の制御方法。
【請求項８】
ネットワークを介して外部装置と通信可能な情報処理装置の制御方法であって、
前記外部装置から電子データを受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した電子データが機密データであるか否かを判定する判定工程と、
前記判定工程における判定の結果、前記受信工程で受信した電子データが機密データでないと判定した場合は、当該受信した電子データを検索対象のデータとして保存し、前記受信工程で受信した電子データが機密データであると判定した場合は、当該受信した電子データを検索非対象のデータとして保存する保存工程と、を備える
ことを特徴とする情報処理装置の制御方法。
【請求項９】
請求項７または８に記載の情報処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるための制御プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、ネットワークを介して外部装置と通信可能な情報処理装置であって、前記外部装置から電子データを受信する受信手段と、前記受信手段が受信した電子データを検索するために用いられるインデックス情報を、当該電子データに関連付けて登録する登録手段と、前記受信手段が受信した電子データが機密データであるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段による判定の結果、前記受信手段が受信した電子データが機密データでないと判定した場合は、前記登録手段によるインデックス情報の登録を行い、前記受信手段が受信した電子データが機密データである

と判定した場合は、前記登録手段によるインデックス情報の登録を行わないように制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明の情報処理装置は、ネットワークを介して外部装置と通信可能な情報処理装置であって、前記外部装置から電子データを受信する受信手段と、前記受信手段が受信した電子データが機密データであるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段による判定の結果、前記受信手段が受信した電子データが機密データでないと判定した場合は、当該受信した電子データを検索対象のデータとして保存し、前記受信手段が受信した電子データが機密データであると判定した場合は、当該受信した電子データを検索非対象のデータとして保存する保存手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】